支援プログラム

作成日 令和7年 7月 1日

事業所理念		発達に支援を要することも地域で安心して成長できるよう、障害の種別に関わらず、保健・医療・福祉・教育の分野が協力して総合的に、かつ一貫した支援やサービスを提供します。		
支援方針		○一人ひとりの特性や発達に配慮し、基本的な生活習慣やあそび、コミュニケーションなど個々に応じた目標に添って保育を行います。また様々な経験を通して、意欲を育めるよう支援します。 ○保護者の悩みごとに心を寄せ、それぞれの家庭にあった子育ての工夫を保護者とともに考えます。 ○保育所や幼稚園、学校などの地域の関係機関と連携し、つながりある支援を行います。		
営業時間		9:00～17:00	送迎実施の有無	利用規約に基づき、送迎を実施しているクラスもあります。
支援内容				
本人支援	健康・生活	○個々の発達に合わせて、食事、排泄、着脱などの日常生活動作が身につくよう、積み重ねを大切にしながら取り組みます。 ○楽しく安全に食事にむかえるように、食べる機能に合わせた食形態で給食を提供します。偏食、アレルギーなど個々に応じた対応でサポートします。		
	運動・感覚	○あそびの中で様々な動き(揺れる、くぐる、すべるなど)を取り入れ、活動に合わせて身体を動かす経験を積み重ねていきます。また姿勢保持や運動発達に合わせた補助具の提案や活用をし、活動に参加できるよう支援します。 ○視覚、聴覚、触覚などの感覚を刺激するあそびを取り入れます。		
	認知・行動	○大小や色、形などに気づくあそびを一緒に楽しみ、興味の幅を広げます。 ○制作、リズムあそびや感触あそび等、様々なあそびを楽しむ中で、指示の理解やことばの意味の理解、活動への見通しなどの力を育みます。		
	言語 コミュニケーション	○自分の思いを表情や仕草、絵カード、発声やことば等で伝えられるように大人がモデルを示します。 ○大人に気持ちを受けとめてもらう経験を重ね、人に伝えようとする気持ちを育みます。		
	人間関係 社会性	○安心できる大人に支えてもらながら、家族以外の大人とも楽しく遊べる経験ができるようにします。 ○大人を介して友だちと楽しい時間を共有し、関心が持てるように支援します。順番を待つ、交代する等の経験を重ねます。 ○当番活動など役割を持って活動する機会を設けます。		
家族支援		○親子通所日や個人懇談等では、日頃のこどもの様子を伝え合い、成長を喜びあったり、悩みごとに心を寄せ、共に考えます。 ○家族も一緒に楽しめる行事を実施します。 ○保護者教室では、進路や療育に関する講演会、保護者同士交流できる内容等、企画し子育てのサポートをします。		
移行支援		○就園、就学に向けて安心して移行できるよう、先輩保護者との座談会や見学、進路相談等、様々な方法で進路に関する情報提供を行います。 ○就学、就園相談の資料作成、教育相談に出席。保護者とともにサポートファイルの作成を行います。 ○次の進路先となる園所や学校への引継ぎを行い、安心して移行できるようサポートします。		
地域支援・地域連携		○保育所等訪問支援の実施。 ○並行通所先との情報共有。 ○地域の就学前施設や事業所に向けた研修会を実施。 ○保健センター、学校、医療機関、こども福祉課等、関係機関と連携を図る。		
職員の質の向上		○内部研修(感染症、虐待防止・身体拘束研修、事例検討等)や外部研修を受講し、業務に関する知識を深めることや保育の専門性を高めます。		
主な行事		○出会い式・園外保育・家族参加日・夏まつり・プールあそび・ワンダーランド・秋あそび・遠足・いもほり・お楽しみ会・親子リズム・修了式		